

一般社団法人日本旅行業協会長 様

長野県山岳遭難防止対策協会長
長野県知事 阿 部 守 一

山岳遭難発生件数の増加を踏まえたツアー登山の安全管理について（依頼）

長野県における山岳遭難防止対策について、日頃から御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、令和 5 年中に長野県で発生した遭難事故は 302 件と過去最多となりましたが、今夏も北アルプス等を中心に山岳遭難が相次いで発生し、発生件数・遭難者数ともに過去最多の水準となっています。

今後も安全なツアー登山を催行いただくため、改めて下記の内容にご留意いただき、貴職から組合員に対し、遭難防止と安全登山の推進について周知徹底いただくよう格別のご配慮をお願いいたします。

記

1 「ツアー登山運行ガイドライン 海外企画関連・増補版」（国土交通省）の遵守について

今シーズンもツアー登山中の山岳遭難が発生していることから、改めて内容を確認の上、遵守いただきますようお願いいたします。<https://www.nhlt.go.jp/kankocho/content/810001659.pdf>

2 高年齢層へのより一層の配慮について

遭難の傾向として、①年齢別では 60 歳以上の高年齢層が約 7 割、②山域別では北アルプスが約 6 割、③態様別では滑落・転倒が約 5 割、病気・疲労が約 3 割となっています。

遭難者に高年齢層が多く、体力やバランス感覚など身体能力の不足等が主な原因として考えられますので、参加者の体力や技量と実際のコース（参加するツアー登山）とのミスマッチが生じないように、配慮いただきますようお願いいたします。

3 「信州 山のグレーディング」の活用について

登山ルートの難易度を客観的に評価し、「自分に合った山選び」の参考としていただくため「信州 山のグレーディング」を設けておりますので、ツアーの実施に際して活用くださいますようお願いいたします。

○信州 山のグレーディング：<https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.htm>

4 山岳ヘルメット着用の奨励について

滑落・転落・転倒等のリスクのある山域では、山岳ヘルメットの着用をお願いします。

○山岳ヘルメット着用奨励山域：<https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangaku/helmet.htm>

【参考】夏山期間中の山岳遭難発生状況（7 月 1 日から 7 月 31 日までの間）

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者数
令和 6 年	65 件	11 人	0 人	27 人	33 人	71 人
前年度比	+11 件	+5 人	±0 人	-4 人	+16 人	+17 人

○長野県警＞長野県内の山岳遭難発生状況（週報）：<https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/shuho.htm>

〒380-8570 長野県長野市大字南長野字幅下 692-2
長野県観光スポーツ部山岳高原観光課
担 当：丸山、百瀬
電 話：026-235-7251
F A X：026-235-7257
電子メール：mt-tourism@pref.nagano.lg.jp



山岳パトロール隊員からのアドバイス これで安心○

年齢・体力・経験に応じたコースを選ぶ

LEVEL ★★★★★



LEVEL ★



・実力を過信した中高年と、経験不足の初心者の遭難が多発!
・コース選びには、体力度と難易度を記載した「信州 山のグレーディング表」(長野県と長野県山岳遭難防止対策協会が作成)もご参考に。
<http://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>

ケータイで
情報キャッチ

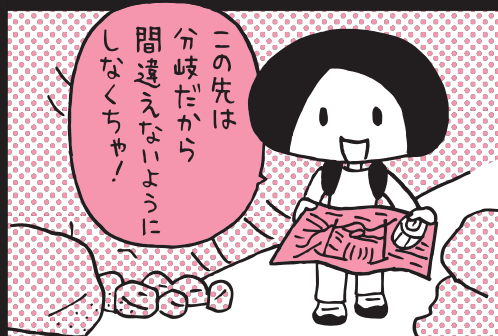


「もしも」への備えが万全



・ツェルト、防寒具、非常食、水、予備電池、靴紐などが、いつ必要になるかわかりません。
・山ではまさに、備えあれば憂いなし!

地図とコンパスをこまめに見る



この先は
分岐だから
間違えないように
しなくちゃ!

・現在地を知ることが安全登山の第一歩。
・地図とコンパスを使いこなせば、山の楽しみも広がる!

行動食と水分をこまめに補給する

元気の素!



・「シャリばて」(血糖値低下による脱力)と「脱水」は山歩きの大敵!
・1時間に1回ほど休憩をとり、こまめに補給しよう。

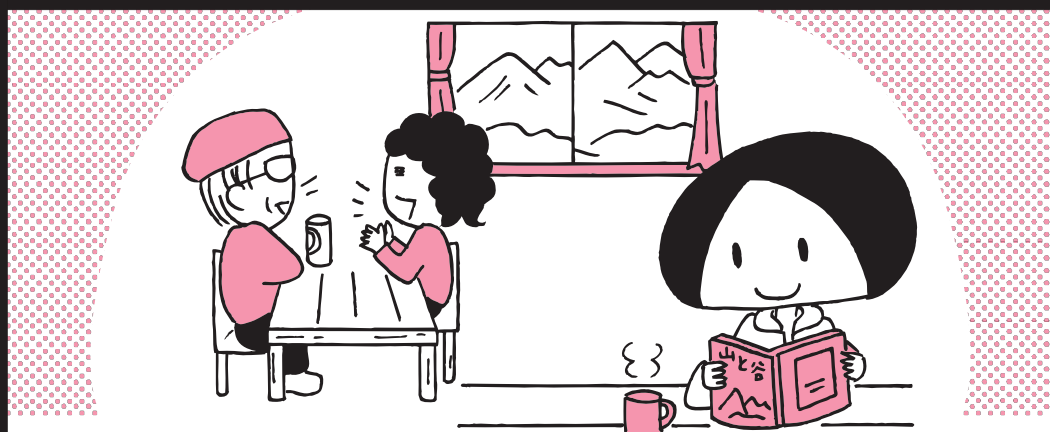
岩場でヘルメットを着用する

九死に一生



・ヘルメットは、落石・転倒・滑落などから身を守ります。(ロック・クライミングじゃなくても必要。)
・遭難者の4人に1人が頭部を負傷しています。

山小屋・テント場のルール・マナーを守る



はやで はやちやく
・「早出・早着」が大原則! ・スペースや順番を譲り合って利用。情報交換も。

天気予報を確認する



登頂は
今度しよう
じゃあ
今日はあ
!? 飲んじゃう

・雨に濡れると、夏でも低体温症の危険があります。
・悪天候のときは、無理せずに「停滞」や「撤退」を!

※ここに掲げた事項は無雪期を前提にしています。

イラスト：鈴木ともこ デザイン：and design

長野県山岳遭難防止対策協会

お問合せ 長野県観光部山岳高原観光課 TEL.026-235-7251

✉ mt-tourism@pref.nagano.lg.jp



山岳パトロール隊員からのアドバイス

これはキケン×

登山計画書を出さない



- ・万が一のとき、迅速な捜索ができません!
- ・必ず登山計画書の提出を。

下山を無視したスケジュールリング



- ・山頂はあくまでも通過点。ゴールは下山!
- ・事故は下山中に起こりやすいので、時間・体力ともに十分な余裕を。

険しい岩場でストックを使う



- ・邪魔になるばかりか、かえってバランスを崩してしまうことも。
- ・ストックをしまって3点支持で進もう。

道を譲るとき、谷側で待機する



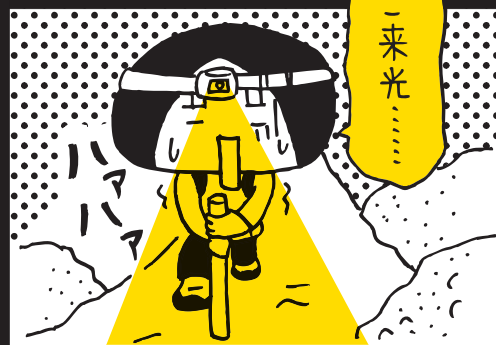
- ・相手にぶつかって、谷底に落とされてしまう可能性が!
- ・山側で待機しよう。

落石のありそうな場所で休憩する



- ・休憩中は動作が鈍くなり、落石に対処できません!
- ・安全な場所で休憩しよう。

弾丸登山



- ・事故・病気(心臓疾患、脳疾患など)のリスクが増します。
- ・十分な睡眠と休憩を。

信頼できるリーダーがいない即席パーティーで山へ行く



- ・道迷い、置いてけぼり、遅い到着など、初歩的なミスが発生!
- ・信頼できるリーダーと一緒にいこう。

夕方に山小屋に到着する



- ・夕方は道迷いなど、さまざまなリスクが高まります!
- ・遅くとも15時頃までに山小屋へ。

※ここに掲げた事項は無雪期を前提にしています。

イラスト：鈴木ともこ デザイン：and design

長野県山岳遭難防止対策協会

お問合せ 長野県観光部山岳高原観光課 TEL.026-235-7251

✉ mt-tourism@pref.nagano.lg.jp